



遺跡全景
ヘルー、テルレン=ラ・ボンバ遺跡
©渡部森哉



ツォンパントリ
メキシコ、テンプロ・マヨール遺跡
©井上幸孝

古代アメリカ学会 第25回研究大会・総会

2020年

会員・非会員
参加無料

12月5日(土)・6日(日)
ZOOM開催(要事前参加登録)

プログラム

【12月5日(土)】		【12月6日(日)】	
08:30	受付開始	08:30	受付開始
09:00-16:40	調査速報	09:00-12:30	研究発表
17:00-18:00	総会(総会の参加は会員のみ)		

プログラム詳細は裏面をご覧ください
事前の参加登録が必要です(12月4日締切)

【参加登録用 URL (QR コードは裏面)】

12月5日: https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_kOCERSEBRH2tLFi0boP1rw
12月6日: https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_vKi3JVy6RAmGmxSGv7UECw

主催: 古代アメリカ学会

古代アメリカ学会事務局
〒466-0824 愛知県名古屋市
昭和区山里町 18
南山大学人類学研究所
渡部森哉研究室内
E-mail: info@americaantigua.org
研究大会の詳細は学会 HP にて
<https://americaantigua.org/>

古代アメリカ学会 第 25 回研究大会・総会

12/5（土）

08:30 受付・入室開始

08:55 開会のことば

【調査速報の部】

09:00 ペルー南海岸エストゥディアンテ遺跡発掘調査概報

松本雄一（山形大学）
ホルヘ・オラーノ・カナレス（パリ第一大学）
坂井正人（山形大学）

09:25 ペルー北部とエクアドル南部における形成期の編年と地域間交流

山本睦（山形大学）
ファン・パブロ・バルガス（エクアドル・クエンカ市考古課）
オスカル・アリアス（ペルー国立サン・マルコス大学）

09:50 ペルー北部高地、カピーヤ遺跡の土器編年

中川渚（国立民族学博物館）
ファン・パブロ・ピジャヌエバ（ペルー国立サン・マルコス大学）
関雄二（国立民族学博物館）
ダニエル・モラーレス（ペルー国立サン・マルコス大学）

10:15 北部ペルーにおけるワリ期の遺跡
テルレン・ラ・ボンバの発掘調査概報

渡部森哉（南山大学）
ファン・ウガス（独立研究者）

10:40 ペルー中央海岸部リマ市ラ・モリナ区における
古代給水システムの研究

サウセド・セガミ・ダニエル・ダンテ（立命館大学）

11:05 メシーカ社会における人身犠牲
—ドゥランの記録を中心に—

井上幸孝（専修大学）

11:30 メキシコ西部、ロス・アガベス遺跡における
第 3 次発掘調査概報（2020）

吉田晃章（東海大学）
ロドリゴ・エスパルサ（ミチョアカン大学）
フランシスコ・ロドリゲス（プレサ・デ・ラ・ルス調査団）
マリオ・レティス（ミチョアカン大学）

11:55 テオティワカンとマヤの相互交流、
「石柱の広場」発掘成果として

杉山三郎（アリゾナ州立大学）
杉山奈和（カリフォルニア大学リバーサイド校）

— 休憩 45 分（12:15－13:00） —

13:00 ニカラグア・カリブ地域における岩刻画の考古学調査

南博史（京都外国語大学）
深谷岬（京都外国語大学大学院）

13:25 ティカル遺跡、エリア 4F における発掘調査に関して
—ホテル・ジャングルロッジ裏、Str.4F-19, 20
における焼骨集中遺構の検出—

今泉和也（北海道大学文学研究院）

13:50 グアテマラ、ニシュトゥン・チチ遺跡の発掘と
黒曜石分析

白鳥祐子（日本学術振興会）
ケリー・マクラファティ（ニューヨーク市立大学）

14:15 ホンジュラス、コパン遺跡における
ウルア・ヨホア多彩色土器に関する一考察

緒方理彩（金沢大学大学院）

14:40 チャルチュアパ遺跡エル・トラピチェ地区出土の土偶

相場伸彦（名古屋大学大学院）
伊藤伸幸（名古屋大学）

15:05 マヤ南東周縁部における黒曜石交易ネットワークの
研究—ホンジュラス、アサクアルパ遺跡出土の
黒曜石資料分析を中心に—

小川雅洋（金沢大学大学院）

15:30 ホンジュラス共和国コパン・ルイナス市における
文化遺産の利用実態と課題

五木田まきは（東京文化財研究所）

15:55 全周カメラ画像による 3 次元測量の可能性と課題：
ホンジュラス、コパン遺跡での事例から

寺崎秀一郎（早稲田大学）

16:20 宇宙線ミュオンを使った
非破壊的考古学調査法の開拓

中村 誠一（金沢大学）
森島 邦博（名古屋大学）

— 総会の参加資格と定足数確認作業（16:40－17:00） —

17:00 総会（会員のみ）

12/6（日）

08:30 受付・入室開始

【研究発表の部】

09:00 コスタリカにおける石斧型ペンダント
（500BC-AD900）に関する製作技術・製作者の多様性
—顕微鏡観察・製作実験の結果から—

久保山和佳（サウサンプトン大学大学院）

09:35 中期ホライズンにおけるワウラ様式の人物型図像と
その特徴について

市木尚利（立命館大学）

10:10 泳ぐ鳥か空舞う魚か：ペルー南高地、
形成期プカラ様式図像にみられる「魚」をめぐって

佐藤吉文（国立民族学博物館）

10:45 チチャ醸造再考～考古学者たちはどのように
酒造りを論じてきたか

松本剛（山形大学）

11:20 二枚貝のスクレロクロノロジーと古環境
—ペルー北海岸のエル・ニーニョ現象に迫る—

莊司一歩（国立民族学博物館）
白井厚太郎（東京大学大気海洋研究所）
杉原奈央子（東京大学大気海洋研究所）

11:55 新世界の食人表象再考：そのイメージの源泉

大平秀一（東海大学）

12:25 閉会のことば

12:30 閉会

※発表時間は、調査速報は 20 分、研究発表は 30 分です。
Zoom 準備等に生じる時間を考慮して、各発表の間に 5 分
設けています。

参加登録用
QR コード
（12 月 4 日締切）

12 月 5 日



12 月 6 日

